

キャタピラー

適用範囲		モデル名		D6N		D6N		D6K
		仕様		DS-XL	DS-LGP	DS-XL	DS-LGP	HS-XL
		適用号機		DJA00001～	DJY00001～	MLW00001～	GHS00001～	FBH
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
デ イ ゼ ル エ ン ジ ン	エンジン本体	エンジン回転速度	rpm	2300±30	2300±30	2300±30	2300±30	2100±100
		ハイアイドルリング	rpm	850±10	850±10	850±10	850±10	750
		ローアイドルリング	rpm	1975±100	1975±100	1975±100	1975±100	—
		トルコンストール状態 (冷却水温) (作動油温)	(℃) (℃)	(—) (—)	(—) (—)	(—) (—)	(—) (—)	(—) (—)
	エンジン油圧	エンジン油圧	kg/cm ² KPa	3.2 315	3.2 315	3.2 315	3.2 315	3.2 315
		(油温) (回転速度)	(℃) (rpm)	(通常運転) (最大回転)	(通常運転) (最大回転)	(通常運転) (最大回転)	(通常運転) (最大回転)	(通常運転) (最大回転)
	弁すき間	吸気弁すき間	mm	0.35±0.05	0.35±0.05	0.35±0.05	0.35±0.05	0.35±0.05
		排気弁すき間 [測定条件]	mm []	0.35±0.05 [冷時]	0.35±0.05 [冷時]	0.35±0.05 [冷時]	0.35±0.05 [冷時]	0.35±0.05 [冷時]
	圧縮圧力又は 気筒間圧縮圧力差 (冷却水温) (回転速度)	圧縮圧力又は 気筒間圧縮圧力差	kg/cm ² KPa	～3.6 ～350	～3.6 ～350	～3.6 ～350	～3.6 ～350	～3.6 ～350
		(冷却水温) (回転速度)	(℃) (rpm)	(—) (—)	(—) (—)	(—) (—)	(—) (—)	(—) (—)
ン	燃料装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力※	kg/cm ² KPa	714kgf 70Mpa	714kgf 70Mpa	714kgf 70Mpa	714kgf 70Mpa	714kgf 70Mpa
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り 測定位置・条件 (kgとNの両方で 表記)	mm kg N	オート テンショナ	オート テンショナ	オート テンショナ	オート テンショナ	オート テンショナ
動 力 伝 達 装 置	クラッチ又は インチャング ペダル	ペダル取り付け高さ ペダルの遊びのストローク ペダルの全ストローク	cm cm cm	—	—	—	—	—
	主クラッチ型 流体継ぎ 手型	ブースタ油圧又は クラッチシリンダ油圧	kg/cm ² KPa	—	—	—	—	—
		トルコン油圧 (インレット)	kg/cm ² KPa	7.1±0.7 700±70	7.1±0.7 700±70	4.6±1.0 450±100	4.6±1.0 450±100	ハイトロ スタティック
		ミッション潤滑油圧	kg/cm ² KPa	2.7±0.3 260±30	2.7±0.3 260±30	2.6±0.5 250±50	2.6±0.5 250±50	ハイトロ スタティック
	クラッチ油圧	クラッチ油圧	kg/cm ² KPa	—	—	—	—	—
		(ミッション油温) (エンジン回転速度)	(℃) (rpm)	(75±5) (2200±30)	(75±5) (2200±30)	(80±5) (2000±30)	(80±5) (2000±30)	ハイトロ スタティック
	プロペラシャフト	ボルト締付けトルク	kgm N・m	6.1±1.2 60±12	6.1±1.2 60±12	6.1±1.2 60±12	6.1±1.2 60±12	—
ス テ ア リ ン グ 装 置	レバ	レバー遊びのストローク レバーの全ストローク	cm cm	—	—	—	—	—
		ステアリングクラッチ油圧又は ステアリングクラッチダ油圧 (油温) (回転速度)	kg/cm ² KPa (℃) (rpm)	—	—	—	—	—

※コモンレール最低圧

D6K								
HS-LGP								
DHA								
検査基準値								
2100±100 750 — (—) (—)								
3.2 315 (通常運転) (最大回転)								
0.35±0.05 0.35±0.05 [冷時]								
3.6 350 (??) (??)								
714kgf 70Mpa								
オート テンショナ								
—								
—								
ハイトロ スタティック								
ハイトロ スタティック								
—								
ハイトロ スタティック								
—								
—								
—								

キャタピラー

適用範囲		モデル名		D6N		D6N		D6K
		仕様		DS-XL	DS-LGP	DS-XL	DS-LGP	HS-XL
		適用号機		DJA00001～	DJY00001～	MLW00001～	GHS00001～	FBH00001～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
走行装置	クローラベルト	張り(たわみ量) 測定方法・条件 (図面番号表示)	mm	—	—	—	—	—
	鉄シユール	張り(たわみ量) 測定方法・条件 (図面番号表示)	mm	35±6 [図3]	35±6 [図3]	45±5 [図3]	45±5 [図3]	35±6 [図3]
		リンクピッチの伸び 測定方法・条件 (図面番号表示)	mm	190 ピン中心間 距離	190 ピン中心間 距離	190 ピン中心間 距離	190 ピン中心間 距離	190 ピン中心間 距離
		履板取付けボルト 締付けトルク 測定方法・条件	kg・m N・m	40.8±7.1 400±70	40.8±7.1 400±70	40.8±7.1 400±70	40.8±7.1 400±70	20.4±2.6 200±25
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 測定方法・条件	床面勾配 1/5以上	勾配1/2で 車両を停止 できること	勾配1/2で 車両を停止 できること	勾配1/2で 車両を停止 できること	勾配1/2で 車両を停止 できること	勾配1/2で 車両を停止 できること
作業装置	シリンダ自然伸縮	ブルドーザ ブレードリフトシリンダ 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	32/2.7 [図5]	32/2.7 [図5]	32/2.7 [図5]	32/2.7 [図5]	32/2.75 [図5]
		ブレードチルトシリンダ 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	13/2.7 [図6]	13/2.7 [図6]	13/2.7 [図6]	13/2.7 [図6]	13/2.75 [図6]
		リッパリフトシリンダ 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	25/2.7 [図5]	25/2.7 [図5]	25/2.7 [図5]	25/2.7 [図5]	25/2.75 [図5]
		リッパシャックシリンダ 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	—	—	—	—	—
		ドーザ・ショベル リフトアームシリンダ 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	—	—	—	—	—
	作業機速度	バケットシリンダ 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	—	—	—	—	—
		(作動油温)	(℃)	49-66	49-66	49-66	49-66	49-68
		ブルドーザ ブレード上げ 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	VPAT 2.64±0.2 SU 2.35±0.2 [図7]	2.7±0.2 [図7]	2.7±0.2 [図7]	2.0±0.2 [図7]	2.0±0.2 [図7]
		リッパ上げ 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	VPAT 1.46±0.2 SU 0.72±0.2 [図7]	2.8±0.2 [図7]	2.8±0.2 [図7]	2.0±0.2 [図7]	2.0±0.2 [図7]
		ドーザ・ショベル リフトアームシリンダ上げ(又は下げ) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	—	—	—	—	—
		バケットチルトバック(又はダンプ) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	—	—	—	—	—
		(作動油温)	(℃)	65±3	65±3	65±15	65±15	55±10
油圧装置	油圧回路設定圧力	主回路設定圧力 (作動油温)	kg/cm ² kPa (℃)	255±4 25000±350 65±10	255±4 25000±350 65±10	257±5 25210±450 55±10	257±5 25210±450 55±10	251±5 24650±450 55±10

D6K								
HS-XL								
DHA								
検査基準値								
—								
35±6 [図3]								
190 ピン中心間 距離								
20.4±2.6 200±25								
—								
32/2.75 [図5]								
13/2.75 [図6]								
25/2.75 [図5]								
—								
—								
49-68								
2.0±0.2 [図7]								
2.0±0.2 [図7]								
—								
55±10								
251±5 24650±450 55±10								

キャタピラー

図 1. D3K, D4K, D5K, D3K2, D4K2, D5K2 の履帯の張り測定方法

●トラックの張り点検

車両をその全長の 2 倍の距離動かし、ブレーキを使用せずに惰力走行で停止させる。

トラックのたるみをストレート・ゲージを使って測定し、適正値であるか点検する。

たるみ量 50～70mm が適正値である

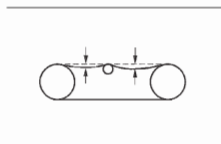


図 2. D3K, D4K, D5K, D3K2, D4K2, D5K2 履帯調整方法

1. 車両をその全長の 2 倍の距離動かし、ブレーキを使用せずに惰力走行で停止させる。
2. バルブ・カバーを外す。(図は開けた状態)
3. トラックを張る場合、手動グリース・ガンでトラック調整バルブ (1) からマルチバーパス・グリース (MPGM) を充填する。
トラックを緩める場合、リリース・バルブ (2) を反時計方向に回す。
次に、トラック調整バルブ (1) を 1 回転させて開けて、グリースを逃がす。
その後、リリース・バルブ (2) を閉めてください。
5. バルブ・カバーを閉じる。
6. 反対側の履帯に同様の作業を行う。

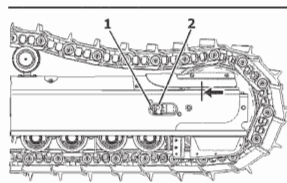
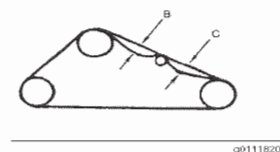


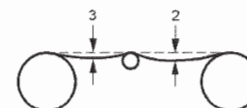
図 3. D6N 履帯の張り測定方法



DJA00001～、DJY00001～ : B、C ともに 35 ± 6 mm

MWL00001～、GHS00001～ : $(B+C) \div 2 = 45 \pm 5$ mm

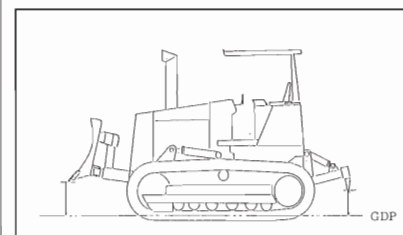
図 4. D6K 履帯の張り測定方法



$(\text{"2"} + \text{"3"}) \div 2 = 35 \pm 6$ mm

図 5. D6N, D6K

リフトおよびリッパ・シリンダの自然伸縮測定方法



- 1) ハイドロリック・オイル温度を規定値まで上げ、作業装置もしくはリッパを、地面から 254mm 離れるまでリフトし、エンジンを停止する。
- 2) 油温における単位時間内の降下量を測定する。

図 6. チルト・シリンダのドリフト試験手順

- 1) ハイドロリック・オイルの温度を規定値まで上げた状態で、チルト・シリンダを完全に収縮する。
- 2) ドーザを下げ地面に押し付け、フロント・アイドラを地面から離し、コントロール・レバーを「保持」位置にしてエンジンを停止。
- 3) 規定時間内でのシリンダのドリフト距離を測定する。

図 7. D6N, D6K

作業機速度測定方法

- リフト : リフトを下げ最大位置 (地面) から
上げ最大位置まで動かし、
時間を測定する。
- リッパ : リッパを下げ最大位置 (地面) から
上げ最大位置まで動かし、
時間を測定する。

